

目次

提言の要約	1
1. はじめに	2
2. 現状分析	2
3. 若手職員の『姿』の考察	3
4. 若手職員の『想い』の検証	4
5. 民間企業における人材育成の現状	5
6. 組織を変えるよりよい人材育成の可能性	6
7. 政策提言	7
8. 終わりに	13

提 言 の 要 旨

若手職員の人材育成について ～MK大学校で輝こう～

現 状 問 題 点

仕事量の増加と職員数の減少により職場に余裕がなくなっている。

一方、若手職員は個人志向が強く協調性に欠ける傾向がみられるなど、その指導については、従前の育成方法では通用しない部分があり苦慮している。

課 題

- ・自ら学び考え行動ができるまでに多くの時間がかかっている。
- ・日々の業務に追われ十分に研修ができる職場環境にない。

提 言

新たな人材育成の手法として、『MK大学校』を職場内に開校し、3年間で若手職員を「3年後の職員の理想像」へ成長させる。

効 果

若手職員の職場適応能力・職務遂行能力を高めます。
相互に成長する職場環境が醸成されます。

全体的に職場としての活性化が図られます。
組織力のレベルアップが図られます。